

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



笑顔で遊んでいる子ども達(カンボジア孤児院)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

まだ暑い日が続きますが、私が住む北海道はすっかり秋となり、朝夕は随分と涼しくなりました。もうしばらくすれば、また辺り一面、雪景色と変わることになりますが、コロナウイルスの方はと言えば、今も変わる事無く、世界中で問題をまき散らしています。

しかし、このような状況の中、孤児院の子供達は相変わらず元気であるという報告を受けることは本当にありがたいことと思っております。一重に、皆様の尊い御支援のお陰であり、本当に感謝に絶えません。

各孤児院の方は、相変わらず入用が多く、運営費の増額を真剣に考えなければならない状況ですが、なかなか難しい状況です。運営費の増額は、各孤児院の働きの強化へとつながり、一人でも多くの子供達を助けることにもなります。

それ故、どうかこれからも、皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。先月、同報にて、ご報告致しましたが、孤児院の12年生(高校3年)、9年生(中学3年)らが全国統一試験としての位置付けもある高校卒業試験、高校受験が、コロナ禍の影響もあり延期となった関係で、補習授業が3ヶ月間ほど各学校で行われることになりました。9月から院内の3人がが学校にて補習授業を受けています。10月から、他の学年も授業が再開できるように、学校での受入れ準備が行われているという情報も入って来ています。8月に飛び級試験を受けた女の子は、無事試験に合格して2年生から一気に4年生に進級できることとなりました。カンボジアでは、道交法改正により、現在の孤児院車両が普通免許では運転が出来なくなり、ドライバーさんに大型免許を取得してもらいました。法整備が日々進められています。車両も長年乗っていますので度々修理も必要となっておりますが、皆様の修理のための支援によって支えられています。孤児院の働きの為、また、子ども達の自立へ向け、皆様からの継続したご支援を本当に感謝申し上げます。



免許も取れ、修理も出来たので、久しぶりに車に乗って出掛けます!

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様の暖かいご支援とご協力を心から感謝致します。

2020年~2021年の学期のスタートは10月5日に変更になりました。子どもたちはモジュール授業とオンライン授業の混合クラスを受けることになりました。モジュール授業のために、保護者は週一回学校に行き、次の週の授業のために新しい教材を受け取ります。またその時に子どもたちがやった宿題や課題を提出します。NPO法人Classfor Everyoneの方々を通して日本からお送り頂いた18台のPCの内14台(7箱)がまだマニラで留め置かれていて、こちらに届いていません。しかし4台(富士通2台、東芝2台)は無事受け取ることが出来ました。このご寄付を心から感謝致します。内蔵カメラが無いPC2台のために外付けのカメラと、その他マウスやヘッドセットなどをこれから購入する予定です。子どもたちは皆、この素晴らしい贈り物にとっても喜び心から感謝しています。皆様の暖かいご支援を心から感謝致します。フィリピンの子どもたちのために、更なる皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



NPO法人Classfor Everyoneの方々を通して日本から届いたノートPC

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます。コロナの影響で、学校はまだ再開されていません。失業率の上昇と、物価の高騰で、孤児たちの学校があるンゴンベコンパウンドの飢餓が、深刻になってきています。学校が閉鎖され、給食が提供されない事で、子どもたちの空腹との闘いが続いています。私たちは、月に1度、孤児家庭への食料援助を続けてきていますが、量、質共に、決して十分ではありませんでした。孤児たちの家庭には、私たちのサポートリストに含まれていない兄弟、従兄弟、親戚たちが大勢同居している事が普通で、同様に、貧困の苦しみの中にいるからです。そこで近々、更に同地域の HIV 孤児家庭を15家族選定し、合計30家庭への緊急支援を始める予定です。支援期間は6ヶ月間。そのために必要な資金をクラウドファンディングで集めていきます。また、学校への受け入れ孤児の数を来年より40人に増やしていく予定ですが、トイレの増設、給食調理のためのキッチン設置が急務になっています。そのための費用が12万円必要です。皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。



一生懸命学ぶHIV孤児たち

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

暦の上では冬が終わる頃で、湿度は14~5%で乾燥していますが、今日は空一面に雲が出て、雨が降りそうな感じです。先月末頃から、商業施設の営業が開始しました。サンパウロで3週間に一度スーパーに買い物に行くのみだった1人住まいの20代の男性が感染して、重篤になり回復したとニュースに出ていました。商業施設では、入口でマスクの着用と検温が義務付けられています。一時は全国で24時間に6万人強の感染者が出ていましたが、対策が浸透し1万5千人程度に抑えられてきています。

先日はグアララペスにある礎の石孤児院の土地の、連邦政府へのITRという税金の申告をすることができました。非常に複雑で、ネット上にプログラムが出たと思ったら、すぐに有効期限が切れるので、緊張して待ち構えていました。無事に申告し、銀行へ税金を納めに行きました。ものすごい人ばかりで、近寄れば世間話が始まるのはどうすることもできないようです。しかし銀行側で、まめにアルコール消毒を実施していました。このような状況ですが、皆様のさらなるご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



銀行にて松本スタッフ